

11 県民のあゆみ

山形県広報誌
令和3年11月号
No.624

山形県広報誌
令和3年11月号

県民のあゆみ

11
No.624

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>



「サイバー」運用
このQRコードを
スマートフォンで
読み取ります。



やまがた でん せつ 伝説 DENSETSU

ゆき
雪にまつわるあれこれ
にほんはつ にほんいち せかいいち
「日本初」「日本一」「世界一」
やまがた こくせつ りせつ しんせつ
山形ならではの克雪・利雪・親雪!



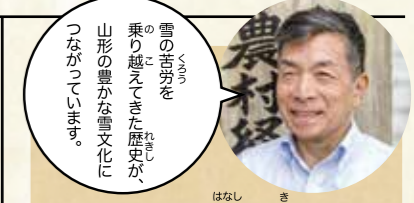
しょうわ ねん せきせつ ひがい きょうさく くる
昭和8年、積雪被害や凶作で苦しむ農村を救うため、経
ざい じょうさ けんきゅう しどう もくてき ぜんこくゆい
済や積雪などの調査・研究・指導を目的に、全国唯一の雪の
役所「積雪地方農村経済調査所(雪調)」が、新庄市に設置
されました。雪調では、冬場の現金収入を支える副業の研
究や振興、屋根の雪下ろしの労苦を省き、生活改善を図る
住宅「実験農家」の検証など、先駆的な「克雪」の取り組みが
行われました。当時の庁舎の建物は、一部が保存・復元さ
れ、現在「雪の里情報館」の展示室として利用されています。



雪国の農村を救う
日本初の
「雪の役所」が
山形にあった!?

けんない こうせつ ちたい たいひょうかく おおくらむら
県内でも豪雪地帯の代表格が大蔵村です。
まいとしふゆ きよだい つく
毎年冬になると、巨大な雪だるまが作られて
おり、平成7年には「世界一の雪だるま」とし
てギネスブックに登録されました。今年3月に
制作された27代目(体目)は、高さ11.4m、
ウエスト回り104m、重さ2,188トンもの大き
さになりました。また、村内の肘折温泉で
は、毎年、積雪量によって宿泊料が割引や無
りょうになる「ドカ雪・大雪割キャンペーン」を
行い、雪の大変さを逆に生かした「親雪」の発想
で雪国の魅力を全国に発信しています。

ふ しょうりょう じゆくほくりょう
雪の降る量によって宿泊料が
お得になるんだって?



雪の苦労を
乗り越えてきた歴史が、
山形の豊かな雪文化に
つながっています。
雪と雪調についてお話を聞きした
もとざわ みつお
本澤 充夫 さん
雪の里情報館「雪調の会」ガイド
雪は、豊かな水やおいしい作物の源とな
り、鮮やかな四季や冬の楽しみをもたら
します。昭和の初め、雪国の救済に取り
組んだ村山市出身の衆議院議員、松岡
俊三氏の努力で「雪調」が生まれ、農村
の暮らしは大きく改善されました。その
歴史や雪国の文化にぜひ触れてみてく
ださい。



ひとびと
人々が生活する
場所としても
山形(西川町志津地区)
積雪量日本一!
うばさわ こくない いちばん しん
西川町姥沢地区は国内で一番の積雪深があります。11月
のノーシュートレッキングから7月の夏スキーまで9か月
の間、雪を楽しめるのは、標高2千m弱の山麓では国内最
長です。この雪は上質な山菜を生み出します。長い収穫期
間と豊富な採取量を誇り、古から続く山岳信仰とともに独
自の食文化を育んできました。そこで町と月山朝日観光協
会は、一昨年、「日本一の『月山』雪国宣言」を行い、雪深い
自然の豊かさ、多様なスノーレジャー、食文化を生かし、「雪は
宝物」として雪を活用する「利雪」日本一を目指しています。

- 2 県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報
- 4 特集 「健康長寿日本一」の実現に向けて!
- 8 奏であう人 山形から世界に広がる夢と未来
- 16 やまがた伝説 雪

野菜や果物についての専門知識をもとに、栄養を生かし、素材に合った料理法なども提案する野菜ソムリエのお二人。山形が誇る豊かな食を、多方面に発信してくれています。県では、民間企業や大学等と連携しながら、県民の健康づくりを進めています。
(撮影協力：街なかやおや)

広告

